

TCP/IP チューニング方法

回線の速度が向上しない場合、TCP/IP をチューニングすると速度が改善されることがあります。このマニュアルでは、チューニングの内容・方法を簡単に説明いたします。
(※チューニングに伴うトラブルについては、責任を追いかねます。自己責任の上で設定されますようお願いいたします)

◆◆◆ チューニングの内容 ◆◆◆

MTU、RWIN を最適化する。

1) MTU(MaxTransferUnit)

一度に送れるパケットサイズの上限を決めるパラメータです。パケットサイズは大きければ良いものではないので、最適な値に調整することでデータ転送効率を高めることができます。通常、CATV では MTU 値を 1500 に設定します。

2) RWIN(RecieveWindowSize)

データのやり取りを行なう相手への応答なしに、一度にデータ受信可能なバッファ量です。データ送信側は、送信先の RWIN がいっぱいになるまでは受信側の応答を待たずに一気に送信することができます。つまり、RWIN 値を増やすとパソコン同士の応答が頻繁に発生しなくなります。RWIN 値は、 $(MTU \text{ 値} - 40) \times 10 \sim 200$ で求める事が出来ます。通常、RWIN 値を Windows95 は 64240、Windows98,Me,2000,XP は 256960 に設定します

◆◆◆ チューニングの方法 ◆◆◆

チューニングは Windows のレジストリエディタを使って行いますが、大変危険が伴います。失敗するとパソコンのリカバリーが必要となる場合も考えられます。そこで、チューニングされる方は、専用のソフトを購入するか、Web からツールを入手することをお勧めします。

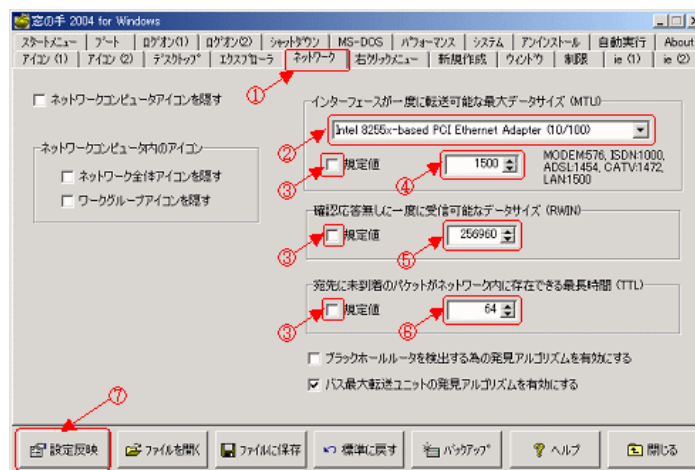
ツールには「NetTune」や「EditMTU」などのチューニング専用ツールやアイコンの変更から細かい設定変更ができる「窓の手」があります。参考までに窓の手の設定画面を以下に示します。

■ 窓の手 ■

【ダウンロード】

Vector 窓の手ダウンロード <http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se049651.html>

【設定画面】



- ① 「ネットワーク」タブをクリック。
- ② ネットワークアダプタを選択
- ③ チェックを外す
- ④ 1500 を入力
- ⑤ 256960 を入力 (Windows95 の場合は 64240)
- ⑥ 64 を入力
- ⑦ 「設定反映」ボタンをクリック